

平成10年9月(1998年) No. 393

## 大阪アマチュア映像祭 プログラム編成決まる

会長 合原一夫

来る11月1日(日)に開催される大阪市立中央図書館との共催による第2回大阪アマチュア映像祭に連盟参加の6クラブより、次のような作品が出品されることがこのほど開かれた幹事会で決定された。わがOMCからは4作品である。

■上映作品(上映順): ①水辺の鳥の子育て(滝野繁次郎・OVC)、②平野って面白い(安居良枝・平野映像塾)、③春のながめ(石原隆行・天六ビデオクラブ)、④街模様(羽田昭治・映像集団「地下街」)、⑤八重干瀬(西村光雄・OVC)、⑥わが町井高野(紙本勝・天六ビデオクラブ)、⑦やっさほっさい(岡本康義・平野映像塾) ⑧青花の町(玉井勺・OVC) ⑨不発弾処理(勝成忠・OMC) <休憩> ⑩住吉大社(合同作品・住吉区ビデオクラブ)、⑪刻(片山尚子・映像集団「地下街」)、⑫ご苦労さまでした京津線(前田茂夫・OMC)、⑬白川郷(中尾修二・天六ビデオクラブ)、⑭ウォーキング下寺町(安居利次・OMC)、⑮白いファンタジー(小林春江・映像集団「地下街」)、⑯明石海峡ブリッジウォーク(有村博・OMC)、⑰ベトナム紀行(合原一夫・OMC)。  
 以上の17本です。

(注) OVC: 大阪ビデオクラブ、OMC: 大阪ムービーサークルの略称。

プログラムは10月初めに完成する予定で準備中です。まずは速報まで。

### 9月例会のお知らせ

9月例会は26日(第4土曜日)18時より、阿倍野市民学習センターにて。9月の声を聞きますと、さすがに朝夕めっきり涼しさを感じる季節となりました。撮影に編集に好季節到来です。

さて、OMC映像祭を11月に控え、これから準備に着手しますが作品選定は9月例会の作品までの中から選定します。

ぜひ映像フェスティバルに出品したいという方は9月例会に作品をお持ち下さい。その他アドバイスを受けたい作品なども歓迎です。特に新しく入会された方の作品をお待ちします。

# 8月例会のレポート

お盆を過ぎたというのに連日残暑厳しく、夜も熱帯夜が続いていますが、例会場だけは涼しさ抜群、避暑を兼ねて?の例会で、今夜も23名の出席と15本の出品という活況でした。先月は高野山撮影会作品公開コンテストで15本の出品がありましたが、普通例会で15本の出品というのは近年はじめて、無論今期の新記録です。今期は昨年10月の7本からスタートして毎月会員さんの増加とともに出品作品本数も増え続け、6月例会の14本を抜いて遂に8月例会で15本の多数にのぼったわけです。皆ご熱心につくっておられる証として嬉しい悲鳴です。当クラブは上映時間の制約は20分程度以下という大雑把なもので作品の内容次第ですが、このところ10分以内の作品が殆どなので21時までになんとか上映を終了しています。短い作品でいかに内容の濃い映像を見せるかも勉強のひとつで上達の早道でもあります。

さて今月は、入会は早かったのですが例会出席は初めてという豊中市の星乃信尚さんがお顔を見せられ、自己紹介のうえ拍手で迎えられました。

■今月の出席者：有村、今井、江村、岡本、奥、上総、勝、金子、合原、星乃、花岡、関、田邑、中尾、増池、前田、森口、森、渡辺、宮崎、渡辺、安居、安居良枝（以上23名敬称略）

今月の司会是有村さん、書記は合原さん、テープ係りは田邑さん、受付は増池さんで例会を進行しました。

途中休憩後、合原会長より先月例会で公開審査された高野山作品のうち、入賞者に対し、トロフィや記念品の贈呈があり拍手で祝福しました。

## ■上映作品

1. 頭の体操 安居良枝さん 6分30秒  
何気ない身近なテーマを取り上げられた女性ならではの作品。ご主人の安居利次さんの全面的な撮影協力のもとに完成された夫婦合作とでもいふべき作品ですが、女性らしい細かない描写がナレーションとともによく描かれています。スーパーやお店での撮影はさぞ気を遣われたのではないかと思います。考えさせられる良い作品でした。

2. 上高地霧情 関 剛さん 4分45秒  
あるグループで上高地へ撮影に行かれましたが、初日は霧がかかった曇天、翌日は晴天だった由。本作品は初日だけでまとめられたもので、霧の上高地の風情をうまくとらえられていて、さすが関さんだなあと感ぜられる映像でした。山にかかった霧のたなびく情景が印象的でした。

3. 天神祭 増池 茂さん 4分00秒  
大阪天神祭の日、天満宮の俯瞰撮影から地上の蛇踊りに入ります。天神祭のムードをかもしだす蛇踊りに的を絞って作品にまとめられていますので、タイトルはむしろ「蛇踊り」でよかったのではないかと、司会から助言がありました。手が動くのでその動きに合わせてカメラを動かしたという作者のコメントですが、ここはやはりカメラは動かさずに、別

に撮ったインサートカットを挿入してまとめた方が良かったのではない  
か、という気がします。

4. バイカモの咲く川 森口吉正さん 6分30秒  
バイカモとは梅花藻と書き、清らかに流れる浅い川に生育する藻のこと  
だそうで、醒が井の池にて水中撮影なども取り入れた努力作。美しい藻  
の動きを金魚鉢にカメラを入れて川に沈めて撮られたとかで、水中カメ  
ラで撮ったような効果を出していました。水が冷たいので、水中カメラ  
ではレンズが曇ってしまうので、金魚鉢の活用を思いつかれた由。美し  
い水辺で住民達が生活用水として接している様子がよく描かれていまし  
た。
5. かにかくに・親しまれる白川 宮崎紀代子さん 8分00秒  
京都白川の風情を描いた作品、なかなかよく撮られています。スーパー  
インポーズの字がグリーンでよく読みとれないのと、エンドマークがな  
いのが惜しまれます。
6. ギャル御輿を追いかけて 安居利次さん 5分50秒  
天神橋商店街の歴史を書いた本を図書館で見つけて脚本を書いたとい  
うだけあって、なかなか詳しくギャル御輿の由来なども解説され、ユニ  
ークでユーモアのある作品に仕上がっております。
7. スペイン 勝 成忠さん 8分00秒  
闘牛シーンが圧巻で、見応えのある作品です。日本ではとても受け入れ  
られない闘牛で、血を流した牛が生々しい印象です。こういう闘牛に絞  
った作品ですから、タイトルもそれに戻したいものがあるように思えま  
すが。
8. 水間寺のもちつき 森 保信さん 9分00秒  
肩載せ式の大型カメラで撮られただけに美しい画面に仕上がっています。  
小さなカメラでは近くに寄れなかったが、大型カメラは協力的に撮らせ  
てもらえたと、餅つきから餅まきまで丁寧に撮られていました。
9. 水の饗宴 金子博泰さん 9分00秒  
上流で水が激しく流れるサマを描いておられます。現録だけで（途中音  
が消える箇所あり）構成されていますが、BGMとの相乗効果を考えら  
れたらどうでしょう。インサートカットももっと欲しいと思いました。
10. ヨーク市散策 上総修一郎さん 10分00秒  
ロンドンから北へ列車で1時間ほど行ったところにある、中世の面影を  
残すヨーク市の情景と大道芸人を中心に描いてあり、異国情緒たっぷ  
りの映像に仕上がっていました。大道芸人のシーンが少し長すぎるのでは、  
という気もしますが、作者はこれがあつたから作品化したとのことでした。

11. 霧に想う 有村 博さん 4分50秒  
関作品と同じ上高地で撮影された作品。関さんの作品とはひと味違ったまとめ方をしてあり、アップを効果的に採り入れられた編集技術はさすがのものを感しました。「～に想う」のタイトルが少し気になりました。
12. 京ぶらり白川 奥 宏さん 6分10秒  
宮崎さんの作品と同じテーマの白川のほつりをスケッチ風にまとめられた作品。この作品には詩的なナレーションが欲しい気がします。白川のほつりも、しつとりとした京の風情が色濃く残っているなと感しました。
13. ハダカだんじり 前田茂夫さん 5分20秒  
平野のだんじりの中から、ハダカだんじりに的を絞ってまとめられたのは成功と思います。なかなか勇壯なだんじりで迫力がありました。警察のスピーカがうるさいのは仕方ありませんが、ダイナミックなBGMとのコンビで解消できるのではという気もしました。
14. 万灯 江村一郎さん 5分30秒  
四天王寺と八尾太子堂の万灯を迫力のあるカットとBGMで江村さんらしい動きのある作品に仕上がっていて秀作です。最後の静かなカットは前にもってきたほうがよいのでは、という助言がありました。
15. 夏祭り 岡本至弘さん 13分0秒  
町内会の子供会年中行事のひとつ、夏祭り編、地元だけによく撮られています。一般向けに10分以内に再編集されたら良い作品になると思います。

以上で例会作品上映を終了し、2次会へと席を移してビデオ談義に花を咲かせ、10時頃来月の再会を楽しみに散会しました。

(合原記)